

(資料33) 平成17年度地方環境研究所等との共同研究応募課題一覧

内訳: 25機関63課題

(平成18年3月31日現在)

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	.		
北海道環境 科学研究 センター	大塚英幸 (環境保全部)	ダイオキシン類の分析法及び解析法に関する研究	森田昌敏・伊藤裕康(化学) 橋本俊次(ホルモンP)	B		継続	經常研究
	阿賀裕英 (環境科学部)	北海道における有機性廃棄物の資源化システム構築に関する研究	井上雄三(循環C)	A		継続	政策対応型研究
	高田雅之 (企画総務部)	流域生態系の再生プラン支援を目的とした河川ネットワーク解析技術の開発	福島路生(多様性P)	C		継続	經常研究
	野口 泉(環境保全部)	日本北方における対流圏オゾン及びその前駆物質の動態に関する研究	谷本浩志(大気)	B		継続	經常研究
	姉崎克典(環境保全部)	ダイオキシン類及びPCBsの発生源解析に関する研究	伊藤裕康・鈴木規之(ホルモンP)	A		新規	經常研究
青森県環境 保健センター	三上 一 (公害部)	十和田湖における難分解性溶存有機物の発生原因の解明に関する研究	今井章雄(水士壤)	B		継続	經常研究
岩手県環境 保健センター	高橋 悟 (環境科学部)	バイオアッセイを用いた水環境試料中の環境ホルモン作用のモニタリングとそのリスク評価	白石不二雄・白石寛明 (ホルモンP)	B		継続	經常研究
宮城県保健環 境センター	鈴木 滋 (環境化学部)	環境汚染化学物質であるダイオキシン類の分析法に関する研究	森田昌敏・伊藤裕康 (化学) 橋本俊次(ホルモンP)	B		継続	經常研究
	北村洋子 (大気環境部)	太平洋側(国設笹岳局)における降水中の鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の調査	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		新規	地球総合推進費
	柳 茂(環境化学部)	廃棄物及び再生材の化学組成データベース作成及び発生業種・種類による特性化と環境対策への利用	貴田晶子(循環C)	B		継続	政策対応型研究
新潟県保健環 境科学研究所	村山 等 (大気科学科)	ダイオキシン類による地域環境汚染の原因解明に関する研究	橋本俊次(ホルモンP) 伊藤裕康(化学)	B		継続	經常研究
栃木県保健 環境センター	青木宏行・田名網 裕一・伊東佳久・須 釜安正(化学部)	ダイオキシン類の分析法に関する研究	伊藤裕康(化学)	B		継続	經常研究
茨城県公害技 術センター	江原 孝 (大気環境研究室)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真(PM2.5)	B		継続	重点特別研究
埼玉県環境科 学国際センター	武藤洋介 (大気環境部)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真(PM2.5)	B		新規	重点特別研究
	木持 謙 (水環境部)	バイオ・エコエンジニアリングを活用した排水処理システムの適正技術開発と普及に関する研究	稲森悠平(循環C)	B		継続	經常研究
	松本利恵 (大気環境)	三宅島の火山ガス等による強酸性雨の観測	村野健太郎(大気)	B		継続	經常研究
	渡辺陽一・小野雄 策(廃棄物管理ケ ルプ)	循環型社会に適合した最終処分物流システムの開発	朝倉 宏・山田正人(循 環C)	B		新規	政策対応型研究
	川崎幹生・倉田泰 人(廃棄物管理ケ ルプ)	廃棄物の安定化に着目した品質評価技術の開発	阿部 誠・山田正人(循 環C)	B		新規	政策対応型研究
	長森正尚・(廃棄物 管理ケルプ)	埋立地ガスならびに土壌保有水を対象とした最終処分場安定化モニタリング	山田正人・遠藤和人(循 環C)	B		継続	政策対応型研究
	成岡朋弘・長谷隆 仁(廃棄物管理ケ ルプ)	最終処分場における環境汚染ポテンシャル評価のための地理情報システムの開発	遠藤和人・山田正人(循 環C)	B		継続	政策対応型研究
東京都環境科 学研究所	高橋昌史 (応用研究部)	埋立地の安定化の評価に関する研究	山田正人(循環C)	B		継続	政策対応型研究
	星 純也 (分析研究部)	有害大気汚染物質自動分析計の精度管理に関する研究	田邊 潔(化学) 若松伸司(PM2.5)	B		継続	經常研究
	石井康一郎(基盤 研究部)	関東地域における大気汚染研究に関する広域ネットワーク構想	大原利真(PM2.5)	B		継続	重点特別研究
	西野貴裕 佐々木裕子 (分析研究部)	東京都内の河川水と東京湾におけるPFOS汚染の実態調査	柴田康行・高澤壽一・ 岩根泰蔵(化学)	B		新規	特別研究
	山本 央 (分析研究部)	ダイオキシン類の迅速測定法に関する研究	橋本俊次(循環C)	B		新規	經常研究
	安藤晴夫 (基礎研究部)	東京湾(都区部)における栄養塩・有機炭素総量の推定	牧 秀明(流域P)	B		新規	經常研究
	神奈川環境科 学センター	福井 博(環境技術 部)	最終処分場の廃止に向けた安定度判定に関する研究	山田正人・阿部 誠 (循環C)	B		継続
千葉県環境研 究センター	内藤季和(大気部)	環境大気用オゾン計の校正手法に関する相互比較実験	向井人史(地球C) 谷本浩志(大気)	B		継続	經常研究
	香村一夫(廃棄物 ・化学物質部)	最終処分場内観測井などを用いた安定化モニタリング手法の開発	遠藤和人・阿部 誠 (循環C)	B		継続	政策対応型研究
	原 雄(廃棄物・ 化学物質部)	最終処分場の経営戦略に関する研究	山田正人(循環C)	B		新規	政策対応型研究
	半野勝正(廃棄物 ・化学物質部)	水生生物を用いた最終処分場浸出水の簡易管理手法の開発	鄭 修貞・山田正人(循 環C)	B		継続	政策対応型研究
	石渡康尊(廃棄物 ・化学物質部)	最終処分場ポーリングコアを用いた廃棄物分解過程の評価	阿部 誠・山田正人 (循環C)	B		継続	政策対応型研究
富山県環境科 学センター	近藤隆之・日吉真 一郎(大気課)	ガス状ほう素化合物による大気汚染監視測定技術の開発	田中 敦(化学)	B		継続	地域密着

地環研機関名	担当者 (所属)	課題名	国環研担当者 (所属)	タイプ		新規 継続	対応研究 種類
				A・B・C	・		
富山県環境科学センター	木戸瑞佳 (大気課)	標高差を利用した黄砂の化学特性に関する研究	西川雅高(基盤)	B		新規	地域密着
	溝口俊明・日吉真一郎 (大気課)	立山観測局における降水中の鉛同位体比に関する研究	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		継続	経常研究
	山崎敬久・溝口俊明 (大気課)	ライダーを用いた黄砂エアロゾル飛来状況に関する研究	杉本伸夫 松井一郎(大気)	B		継続	経常研究
長野県環境保全研究所	土屋としみ(大気部)	山岳地域におけるハロゲン化メチルの動態に関する研究	横内陽子(化学)	B		継続	経常研究
	中込和徳 (大気部)	山岳(八方尾根)降雪中の鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の定量化	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		新規	科研費
	小澤秀明 (管理部)	環境試料中のダイオキシン類の分析法に関する研究	伊藤裕康(化学) 橋本俊次(ホルモンP)	B		継続	経常研究
	樋口澄男 (水質部)	車軸藻の絶滅・絶滅危惧種の保護と自然界への復元に関する研究--車軸藻類を中心とした湖沼水草帯の復元手法と水質浄化機能の検討--	渡辺信(生物)	B		継続	経常研究
静岡県環境衛生科学研究所	深澤 均 (環境科学部)	底質が生態系に与える環境ホルモン作用の評価手法の研究	白石寛明(リスクC) 白石不二雄(ホルモンP)	B		新規	経常研究
名古屋環境科学研究所	朝日教智 榎原 靖(水質部)	微生物分解による環境汚染物質の浄化に関する研究	岩崎一弘 (多様性P)	B		継続	経常研究
	山神真紀子 (大気騒音部)	自動車起源のPM2.5に関する研究	若松伸司(PM2.5)	B		継続	重点特別研究
	土山ふみ 鎌田敏幸(水質部)	ため池の多面的な利用と保全・再生に関する基礎的研究	高村典子 (多様性P)	B		新規	地域密着
福井県衛生環境研究センター	加藤賢二・青木啓子 (環境保全部)	水[循環]環境の健全化のための底質改善・底質除去資源循環技術の開発	稲森悠平(循環C)	B		継続	経常研究
	田中宏和(生活科学部)	北陸地方における産業廃棄物最終処分場(管理型)の安定化に関する研究	山田正人・遠藤和人(循環C)	B		新規	政策対応型研究
岐阜県保健環境研究所	村瀬秀也 (環境科学部)	環境試料中のダイオキシン類の分析法と環境動態に関する研究	森田昌敏(統括) 伊藤裕康(化学) 橋本俊次(ホルモンP)	B		継続	経常研究
京都府保健環境研究所	中西貞博 (大気課)	日本海側におけるエアロゾル中の微量金属及び鉛同位体比の動態に関する研究	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		継続	経常研究
	中嶋智子 (環境衛生課)	廃棄物埋立処分場に起因する外因性内分泌かく乱化学物質による環境影響評価に関する研究	白石不二雄(ホルモンP)	B		継続	経常研究
	中西貞博 (大気課)	粒子状物質の粒径別長時間分解能成分分析手法の開発と都市大気エアロゾルの動態解明への応用に関する研究	若松伸司(PM2.5)	B		継続	重点特別研究
	山川和彦 (大気課)	日本における光化学オキシダント等の挙動解明に関する研究	若松伸司(PM2.5) 菅田誠治(大気) 宮下七重(情報C)	C		継続	重点特別研究
	多田哲子 (水質課)	クサガメを指標動物とした外因性エストロゲンの生態影響に関する研究	白石不二雄、白石寛明 (ホルモンP)	B		継続	経常研究
兵庫県立健康環境科学研究所	駒井幸雄 梅本論 (水質環境部)	山林域における水質形成と汚濁負荷流出過程に関する研究	今井章雄(水と土壌)	B		継続	経常研究
	梅本論 駒井幸雄 (水質環境部)	ため池とその周辺を含む地域生態系での水循環に関する基礎的研究	高村典子 (生物多様性P)	B		継続	経常研究
和歌山県環境衛生研究センター	野中 卓(環境研究部)	太平洋岸(潮岬)降雨中の鉛同位体比測定によるアジア大陸からの越境大気汚染の定量化	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		継続	経常研究
	二階 健・大谷一夫 (大気環境グループ)	有害紫外線の現況把握に関する研究	小野雅司(健康)	B		新規	経常研究
鳥取県衛生環境研究所	小川美緒(水環境室)	湖水中の難分解性有機物に関する調査研究	岩崎一弘(多様性P)	B		継続	経常研究
	門木秀幸 (環境化学室)	廃棄物・再生材の化学組成データベース作成及び発生業種・種類による特性化と環境対策への利用(廃棄物・ガラス再生材の化学特性及び環境安全性に関する研究)	貴田晶子(循環C)	B		新規	政策対応型研究
	門木秀幸 (環境化学室)	循環資源特性に着目した有機性廃棄物循環利用システムの構築	井上雄三(循環C)	B		新規	重点特別研究
福岡県保健環境研究所	須田隆一 (環境科学部)	北部九州におけるハンノキ群落およびハマボウ群落の生態とその保全に関する研究	清水英幸(国際室)	B		継続	経常研究
福岡市保健環境研究所	竹中英之 (企画調整課)	藻場の生態系機能による海域再生研究	矢部 徹(生物)	C		継続	経常研究
北九州市環境科学研究所	門上希和夫(アクア研究センター)	浸出液中半揮発性有機汚染物質スクリーニング方法に関する共同研究	野馬幸生(循環C)	B		新規	政策対応型研究
長崎県衛生公害研究所	森 淳子 (大気科)	東アジア規模の汚染物質の移流過程と成分組成に関する解析研究	村野健太郎(大気) 向井人史(地球C)	B		継続	経常研究

\* 研究タイプA～C

A: 地環研の研究者が自治体における国内留学制度等を利用し、国立環境研究所に於いて原則として1ヶ月以上にわたり共同で研究を実施するもの。

B: 地環研と国立環境研究所の研究者の協議により、共同研究計画を定め、それに従って各々の研究所において研究を実施するもの。

C: 全国環境研協議会、ブロック会議等からの提言をうけて、国立環境研究所と複数の地環研の研究者が参加して共同研究を実施するもの。

\* 研究タイプ

: 国立環境研究所が主体のもの

: 地方環境研究所が主体のもの